



## 臨床研究に関する情報の公開

作成日:2025/06/25

研究課題名	レオカーナ療法中の経皮酸素分圧とブラジキニン濃度についての検討
研究の対象	2024年4月～2024年9月に当院でレオカーナ加療を受けられ、医師から経皮酸素分圧の検査前説明をうけて同意された方
研究目的・方法	<p>血行再建術が対象外の包括的高度慢性下肢虚血(CLTI)患者は、1年以内の下肢切断率が20-30%、1年死亡率が約20%とされ、極めて予後は不良です。その中、CLTIに対するLDLアフェレシス加療としてレオカーナが近年、保険収載されました。レオカーナは末梢循環不全改善の一機序としてブラジキニン産生が知られており、当院で初めてその血中濃度推移を報告しました(Takaya Handa et al. Ther Apher Dial. 2024 Jan 3)。だが、レオカーナ施行中の末梢循環不全の定量的な評価は未だほとんど既報がありません。本研究は経皮酸素分圧測定を介して、レオカーナ施行中の末梢循環不全の定量的な評価を行うことが目的です。</p> <p>2024年に田附興風会 医学研究所 北野病院にてレオカーナ加療を受けている患者さんの中で、医師からの口頭説明及びその診療記録を記載され、レオカーナ施行中の経皮酸素分圧測定・血中液性因子の測定に理解と納得された患者さんを対象とします。対象患者の臨床的特徴・治療内容・及びCLTIの予後と血中液性因子(ブラジキニンや一酸化窒素等)を評価します。</p> <p>研究期間：許可日～2027年3月31日</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：病歴、レオカーナ加療の治療歴、経皮酸素分圧測定値、等 試料：血液
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒530-8480 大阪市北区扇町2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867 腎臓内科 客員研究員 半田貴也</p> <p>研究責任者：腎臓内科腎臓内科 主任部長 松原 雄</p>